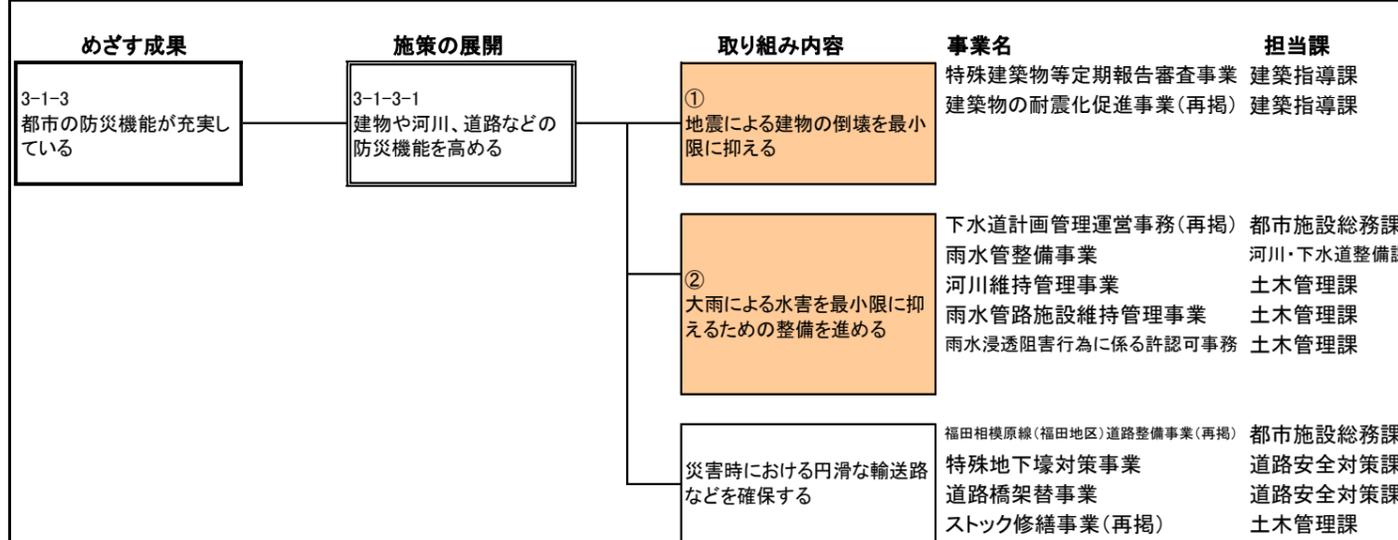


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
3-1-3 都市の防災機能が充実している		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	災害への対応力を高める
	めざす成果	都市の防災機能が充実している 地震や大雨が発生しても、大きな被害につながらないような施設整備などの対策が講じられています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時(H20)	最終目標値(H25)	実績値(H25)	実績値(H26)	実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)
	① 防災上重要な公共建築物の耐震化率	92.0%	96.0%	98.8%	98.8%	99.4%	99.4%	100.0%
② 雨水整備率	66.5%	69.0%	68.4%	68.6%	68.7%	68.7%	69.0%	

所管部	都市施設部、街づくり計画部
-----	---------------

平成27年度までの取り組み内容	<p><b>【建物や河川、道路などの防災機能を高める】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業や土地区画整理事業等について協議調整を行い、大和市公共下水道事業計画の変更について検討を行いました。</li> <li>雨水による浸水被害の解消を図るため、雨水管の整備を607.3m実施し、雨水整備済面積が1.99ha増加しました。</li> <li>市が管理する河川や下水道管渠の雨水排除の能力を確保するため、清掃を行うとともに浚渫を40㎡実施しました。</li> <li>地震時の道路橋の落橋を防ぐとともに発災後の交通を確保するため、市が管理する道路橋の耐震性能について1橋を調査し、耐震補強工事を1橋実施しました。</li> <li>防災上重要な公共建築物1棟について耐震改修工事を行い、対象棟数174棟のうち173棟の耐震化が完了しました。</li> </ul>
-----------------	--

構成事業に対する考え方(事業の量及び実施手法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成42年度を目標年次とした大和市公共下水道全体計画に基づき、各種計画の策定・見直しを行っていきます。</li> <li>雨水未整備地域の浸水被害箇所を中心に効率的な雨水整備を進めるとともに、特定都市河川法の流域指定に伴う雨水流出抑制対策のため、雨水の浸透貯留についての取り組みも行っています。</li> <li>道路、河川の機能を確保するため、国が示した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、各施設の修繕計画の策定を進めます。また、適切な計画策定のために、施設の現況について把握する必要があります。</li> <li>防災上重要な公共建築物以外の公共建築物についても順次耐震化を進め、平成30年度までに耐震化率100%とする目標達成に向け、引き続き施設管理者と協議をしていきます。</li> </ul>
-------------------------	---

今後の展開方針 注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。

新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充	・雨水幹線築造工事(下鶴間排水区)南林間雨水調整池工事を推進します。	(該当する事務事業) ・雨水管整備事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)